

令和4年度官民研究開発投資拡大プログラム (PRISM) の実施方針

令和4年6月23日
ガバニングボード決定

「官民研究開発投資拡大プログラム運用指針」(最終改定: 令和4年4月14日 ガバニングボード決定)に基づき、令和4年度のPRISM対象施策、配分額、実施期間を次のとおり定める。

また、年度途中に機動的に対応するべき事項が生じた場合等に対応するため、2,366 百万円留保する。

研究開発型 配分額計: 851百万円**AI技術領域 配分額: 407百万円**

対象施策	概要	府省庁名	配分額 (百万円)	実施期間
人工知能等を用いたサイバー空間における違法・有害情報の探索・分析技術の実用化に向けた検討	サイバー空間上の違法・有害情報の探索・分析に係る手法について、民間企業で実施している AI を用いた画像認識技術等既存技術の調査及び警察業務への実装検討を行い、汎用的なサイバーパトロールシステムの構築を加速する。	警察庁	60	
AI 技術を活用した不正プログラム解析手法の高度化	民間企業で研究開発・活用されている AI 技術を警察業務に導入し、国を標的とするサイバー攻撃で利用される不正プログラムの分類や機能特定の自動化をはじめとする各種不正プログラム検体の解明プロセスを効率化・高度化するためのシステム開発を促進する。	警察庁	74	
アジア展開を可能とする高度環境制御型施設園芸技術の開発	アジア地域の施設園芸において、日本発の生産性の高い環境制御技術をもとに、高温多湿条件等に対応した生育モデルベース環境制御システムの開発をはじめ、施設・制御・品種をパッケージとして地域標準化を図る。	農林水産省	200	
分散型水素エネルギーシステムの設計/制御 AI の構築による社会実装加速	自然エネルギー発電電力を独立した安定電源として使用するため、理研で独自開発した分散型水素エネルギーシステムの社会実装に向けて、環境条件と設置施設に対して最適化されたシステム設計/制御のためのデータ基盤・AI シミュレータを構築する。	文部科学省	73	

革新的建設・インフラ維持管理技術/革新的防災・減災技術領域 配分額：230百万円

対象施策	概要	府省庁名	配分額 (百万円)	実施期間
インフラ分野のサステナビリティ向上	インフラ分野におけるデジタル化および建設現場のカーボンニュートラル化を目指すため、官民連携により生産性の向上を図る技術の現場実証等を行い、社会実装のための要領策定、各種基準改定を加速する。	国土交通省	200	
防災上管理優先度の高い路網判定技術の開発	森林路網情報のデータベース構築手法を確立し、様々な森林情報(傾斜・雨量・土質等)とGIS上で統合し、経済性と同時に防災上管理優先度の高い路網を判定できる「森林路網評価システム」を開発する。	農林水産省	30	

量子技術領域 配分額：214百万円

対象施策	概要	府省庁名	配分額 (百万円)	実施期間
量子もつれ光を駆使した革新的赤外吸収分光装置の実現	量子もつれ光を利用した量子センシング技術により、赤外吸収分光装置の製品化に向けた小型化・安定化及び高度化の技術開発に着手し社会実装を加速する。	文部科学省	120	
量子技術を用いた生体高分子構造情報取得に向けた中性子回折装置の高度化(量子生命科学研究拠点の形成)	量子技術イノベーション拠点(量子生命)として、これまで調べられていない大型分子の構造や機能を明らかにするため、中性子回折装置の高度化を実施すると共に、新たな創薬標的タンパク質の結晶作製・構造解析に関する研究開発を推進する。	文部科学省	94	

(注1)対象施策の配分額を百万円単位で表示するため小数点第1位を四捨五入しており、領域配分額と一致しない場合がある。